

「音楽科(うた・リズム)」(訪問教育) 学習指導案

1. 日時 平成26年6月
2. 場所 児童宅
3. 学部・学年・組 小学部 第5学年
4. 単元名 「季節の歌、ふれあい遊び、楽器遊びを楽しもう」
5. 単元目標
 - ・ 季節感のある歌、教師とのふれあい遊びを楽しみ、表現力を養う
 - ・ 楽器の音色や響きに興味を持つ
6. 児童観 略
7. 教材観

うた・リズムの授業の組み立てとして、「季節のうた」「ふれあい遊び」「楽器遊び」を三本柱として、様々な経験、刺激による支援が行うことができるよう毎回取り入れている。ほぼ1ヶ月～1ヶ月半の期間をひとつの単元として、曲や取組みの内容を変えている。「季節のうた」のについては梅雨の時期であるので雨とカエルをテーマに用いている。『かえるがゲコゲコ』はゲコゲコという歌詞が繰り返し出てくるリズムカルな曲である。カエルの鳴き声を聞いたり、音と光の支援としてスイッチを押すと鳴いて光るカエルも利用する。『雨ふってきた』は雨の音を聞いたり、水しぶきに触れたり、傘をさして雨降りの雰囲気味わえるよう、具体物を取り入れる。「楽器遊び」の『ベルをならそう』は、音色がはっきりとしたハンドベルを使用し、音の響きに対しての反応を児童Aにとって出しやすい楽器を選んで取組む。「ふれあい遊び」の『うにうにんぱー』は軽快なリズムが繰り返される曲で、児童と教師が向き合って、教師が体の様々な部分に触れたり、リズムに合わせて揺れたりして、2者間に信頼関係を築けるよう選曲した。また、単元の最後に毎回、学習した曲を録音し、CDにして授業以外でも繰り返し聴けるようにしている。

8. 指導観

2時間の訪問授業の内容は、基本的に毎回、自立活動(始まりの会、からだ、うた・リズム、ふれる、みる・きく、終わりの会)を実施している。時間配分は、児童のその日の体調等をよく把握しながら行っている。「ふれる」「みる・きく」については、活動に集中できるよう、どちらかに重点を置く場合がある。Aは音楽を聞きながら体を動かすことがとても好きで、うた・リズムは25～30分程度の授業時間を取るようになっている。うた・リズムは音楽を介して、様々な刺激による支援ができ、また児童と教師のやりとりは言葉のコミュニケーションに課題があっても自己を表現する手段としてとても有効に感じるが多い。年間を通して季節感、人とのふれあい、楽器等の様々な音を三本柱として、期待や楽しみ、見通しを感覚的に持って、授業に対しての意欲や表現力を高めていくことをめざしたい。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・歌を聴いたり、身体を動かしたりすることを楽しむことができる。 ・ふれあい遊びのやりとりを楽しむことができる。 ・楽器や、様々な音を集中して聴くことができる。	・自ら身体を動かして気持ちを表現することができる。	・教師と一緒に楽器を鳴らすことができる。	・身近なものの音に気づくことができる。 ・軽快な繰り返しのリズムを感じることができる。

10. 単元の指導と評価の計画（全6時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	1時間	○カエルの鳴き声、雨音を聴こう ○「カエルがゲコゲコ」を聴こう ○「雨ふってきた」を聴こう ○ベルを鳴らしてみよう			○	○
第二次	4時間 (本時3/4)	○「カエルがゲコゲコ」の歌遊びを楽しもう ○「雨ふってきた」の歌遊びを楽しもう ○「ベルをならそう」を演奏しよう ○「うにうにんぱー」の体遊びを楽しもう	○	○	○	
第三次	1時間	○学習した曲を録音しよう	○		○	

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ①季節の具体物を使った歌遊びを楽しむ
- ②楽器の音に興味を持ち、教師と鳴らす
- ③教師とのふれあい遊びを楽しみ、表現の方法の幅を広げる

(2) 本時の評価規準

- ①・水しぶきを感じたとき反応を示すことができる（関心・意欲・態度）
 - ・繰り返しのリズム感を楽しむことができる（関心・意欲・態度）

②・楽器の音をきく（技能）

・楽器を鳴らそうとする（技能）

③ふれあい遊びを繰り返し行いたいことを表情や身体の動きで伝えることができる（思考・判断・表現）

（３） 本時で扱う教材・教具

ハンドベル、傘、水入りスプレー、カエルのおもちゃ、ＩＣレコーダー、ミニスピーカー、キーボード

（４） 幼児児童生徒の実態と本時の目標 略

（５） 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び 支援のてだて等	評価規準・評価方法
3分 導入	○あいさつ ○前回の授業を振り返る。	・座位保持椅子にリラックスして座れているか観察する。 ・前回使用した傘やカエルや楽器を提示し、前回行ったことを振り返る。	
25分 展開	○「カエルがゲコゲコ」 ・歌を聴き、曲のリズムを知る。	・鳴いて光るカエルを目前に提示しながら教師が歌う。 ・リズムを感じ取れるよう座位保持椅子を左右に動かす。	・鳴き声や光を感じている反応がある。 ・座位保持椅子で左右に動くことによって、揺れを楽しめている。
	○「雨ふってきた」 ・歌を聴きながら、傘をさしたり、水しぶきを浴びる。	・雨降りの雰囲気を感じ取れるよう傘を児童の頭上にさし、水しぶきをかけたりしながら歌う。	・傘をさしたり、水しぶきがかかったときに表情の変化がある。
	○「ベルをならそう」 ・ベルを教師と鳴らす。	・教師が鳴らすベルの音を最初に聞かせる。 ・教師が手を添え、ベルを鳴らす。その際、児童が鳴らしやすいように腕の緊張の具合をよく観察し、支持する場所を配慮し、自らの動きに合わせる。	・ベルの音を傾聴している様子がある。 ・ベルを鳴らそうと腕を動かそうとする様子がある。
	○「うにうにんぱー」 ・教師とふれあいながらからだ遊びをする。 ・繰り返し行う。	・児童と教師が向き合いやすいよう座位保持椅子のテーブルをはずす。 ・児童が事前に予測がつくよう、身体が触れられる部分を声かけしながら行う。	・揺れを楽しむことができてい る。 ・教師の声かけ、問いかけに答えようとする動きがある。

2 分 ま と め	○ふりかえり ○あいさつ	・ 今日取組んだことを振り返り、 良かったところを確認する。	
-----------------------	-----------------	-----------------------------------	--

(6) 教室配置等 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略